

■交通アクセス



□到着時間のめやす

JR 佐賀駅から	バス	約 20分
	タクシー	約 15分
JR 鍋島駅北から	バス	約 10分
JR 鍋島駅から	タクシー	約 10分

□バス路線

佐賀市営バス	・嘉瀬新町/久保田線 ・徳万/久保田線 ・鍋島駅/医療センター線 ・南部/医療センター線
昭和バス	・唐津-佐賀線 ・佐賀-多久線
祐徳バス	・佐賀線 (佐賀～鹿島) ・武雄線 (佐賀～武雄)

■健康診断・人間ドックを受けて健康生活を。

健診を受けることによって、ご自身の健康状態を知り、生活習慣病やがんの早期発見、早期治療に役立てることができます。心と身体の総点検として定期的な健康チェックをおすすめします。

健康診断… 毎週火・木曜日に実施しています。
人間ドック… ●1日コース ●2日コース ●脳ドック ●心臓ドック
の4つのコースがあります。

■禁煙のお手伝いをしています。

詳しくは禁煙外来窓口まで。
※事情により一時閉鎖する場合がございます。詳しくはホームページで最新情報をご確認ください。

〈平日〉14:00～16:30 TEL (0952) 28-1174

地方独立行政法人
佐賀県医療センター **好生館**

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
TEL (0952) 24-2171(代表) FAX (0952) 29-9390

詳しくはホームページをご覧ください
<http://www.koseikan.jp>

好生館

検索

病む人、家族、そして県民のところに添った
最良の医療をめざします



地方独立行政法人
佐賀県医療センター **好生館**
SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN
SINCE 1834

好生館 基本理念



扁額

好生館は、
病む人、家族、そして県民のところに添った
最良の医療をめざします。



設立の理念

好生の徳は民心にあまねし
学問なくして名医になるは覚束なきことなり
(古賀穀堂「学政管見」より)

基本方針（目標）

1. 患者中心の信頼される医療
2. 良質で安全な高度医療
3. 救急医療の確保と地域連携の医療
4. 教育の重視と人材の育成
5. 経営努力による経営効率の改善

ごあいさつ



理事長
桐野 高明

パンデミックと好生館の役割

好生館は江戸時代に創設され、以来途切れることなく佐賀県の医療の中心の一つとして活動を続けてきています。そして、県民の皆さんの健康を守るために、良質で安全な医療の提供をこころがけて活動を続けています。何事もなく、無事に世の中が過ぎていくときには、好生館は救急医療、がん、脳卒中・心疾患、小児周産期医療など高度・専門医療に重点を置きつつ、地域の医療機関と連携をしながら、医療提供体制の確保に務めてきています。2020年に入り、新型コロナウイルス感染が世界中に拡大しました。そして、100年前のスペイン風邪の流行に匹敵するような歴史的なパンデミックとなりました。好生館は佐賀県の第一種感染症指定医療機関として、感染拡大に対する対策の先頭に立つ立場にあり、職員は、新型コロナウイルス感染者の治療に一丸となって取り組んでいます。好生館は「平常時」にあっても、また大災害やパンデミックの「非常時」にあっても、常に県民の健康を守るために全力を尽くし、信頼される病院でありつづけたいと願っています。好生館に対するご支援を、そして職員に対するご声援を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



館長
佐藤 清治

COVID-19対応と日常診療と

新型コロナウイルス感染症は本年4月以降、最悪の第4波を迎えています。当館では昨年来400名を超える陽性患者の入院治療を継続しつつ、住民へのワクチン接種も平日勤務時間外、土日祝日を利用して全面的に協力しています。職員一丸となりこの未曾有の災害と闘い続ける一方、救急を含む通常診療は縮小することなく、強い責任感、使命感を持ち、「忘己利他」の精神で安心・安全の医療を提供し続けております。

日常診療では常に最先端の医療を提供し、ロボット手術やゲノム医療の推進、AI(人工知能)の導入など、新たな知識や技術の向上にも積極的に取り組んでいます。また、教育面でも医学生、看護学生への教育、研修医への指導をはじめ、看護師特定行為研修、輸血実施資格取得やそれぞれの専門分野の資格取得なども推奨し、高い人間性と高度な専門性を兼ね備えた医療人の育成に力を注いでいます。職員一同、さらに医療の質を高めるべく常に自己研鑽に励み、平時、有事に関わらず、みなさまに安心・安全で笑顔あふれる医療を受けていただけるよう努めてまいります。

本冊子では当館の診療科や診療センター等をご紹介します。日常の診療や受診などにお役立ていただけましたら幸いです。



地域の医療連携を重視し 高度で低侵襲・県民の皆さまに 役立つ医療を提供します

好生館の使命は、最新の先進高度医療をすべての患者の皆さまに提供することだと考えています。これは、設立時より引き継がれてきた理念「好生の徳は民心に治し」に基づくものです。

好生館は「地域完結型医療」の中心的役割を担う「地域医療支援病院」として、地域のみなさまによりよい医療を提供します。地域完結型医療の実現のために「医療連携」「救急体制」「研修体制」の強化に努め、地域の医療機関を支援することで地域全体の医療の質が向上し、地域のみなさまによりよい医療が提供できるようになります。

佐賀県の地域完結型医療の中心として、病院前治療から急性期治療、その後の地域医療へのサポートを通じて、好生館の充実した医療機能を生かせるようスタッフ一同努力し、新しい歴史を築いて参ります。

連携病院	
佐賀県医療センター好生館 共同利用登録医	
佐賀市	74
小城市	10
多久市	3
神崎市	11
神埼郡吉野ヶ里町	6



患者さんの権利と義務

【権利】

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 治療と検査に関して、理解できるまで説明を受け、ご自身で決定する権利があります。
3. 医療機関を選択し変更する権利、別の医師の意見を聞く権利(セカンドオピニオン)があります。
4. ご自身の医療情報を知る権利があります。
5. プライバシーが守られる権利があります。
6. 個人の尊厳が尊重される権利があります。

【義務】

1. 医療従事者に出来るだけ正確に伝える義務
患者さんは自身の健康状態や考え方を医療従事者に正確に伝えてください。
2. 自身が受けている医療に関して理解し、質問する義務
患者さんは自身が受けている医療に関して十分に理解し、納得するまで質問してください。
3. 他の患者に支障を来さない義務
患者さんはほかの患者さんの治療や療養生活に支障を来さないようにしてください。
4. 規則を守る義務
病院が決めた規則は守ってください。



診療のご案内

■受付時間…8時30分～11時00分（月曜日～金曜日）

※土・日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）は休診です。急患については、救急外来で対応いたします。

■診療時間…8時30分～17時15分

診療科・部門のご紹介

診療部門	総合内科 血液内科 腎臓内科 糖尿病代謝内科 腫瘍内科 消化器内科 消化器外科 肝臓・胆のう・膵臓内科 肝臓・胆のう・膵臓外科	呼吸器内科 呼吸器外科 脳神経内科 脳神経外科 循環器内科 心臓血管外科 小児科 小児外科 整形外科	脊椎外科 緩和ケア科 精神科 皮膚科 産婦人科 乳腺外科 形成外科 泌尿器科 眼科	耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 病理診断科 歯科口腔外科 膠原病・リウマチ内科
------	---	--	---	--

診療センター	救命救急センター ハートセンター	脳卒中センター 周産期母子センター	外傷センター リハビリテーションセンター	消化器病センター
--------	---------------------	----------------------	-------------------------	----------

がんセンター	緩和ケアセンター	プレストセンター
--------	----------	----------

中央診療部	手術部 栄養管理部	輸血部 材料部	検査部 MEセンター	病理部	放射線部	集中治療部
-------	--------------	------------	---------------	-----	------	-------

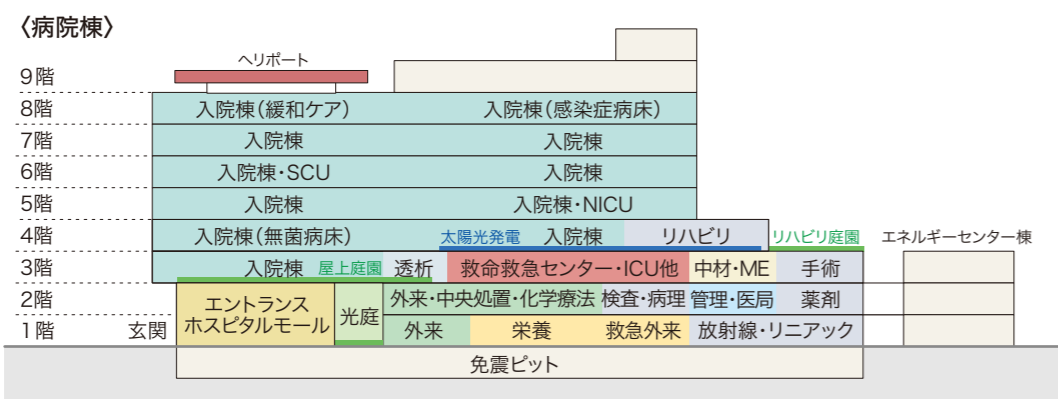
看護部

患者・家族総合支援部	入退院支援センター	地域医療連携センター	相談支援センター（一般・がん）
------------	-----------	------------	-----------------

QMセンター	医療安全管理部	感染制御部
--------	---------	-------

薬剤部	医療情報部	事務部	教育センター	Medical Link Office
-----	-------	-----	--------	---------------------

研究部門	ライフサイエンス研究所
------	-------------



病院概要

名称…………… 地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館

所在地…………… 〒840-8571 佐賀県佐賀市嘉瀬町大字中原400番地

敷地面積…………… 52,573㎡

建物規模…………… 延面積 48,425㎡

階数…………… 地上8階、一部9階ヘリポート

診療科目…………… 34診療科

病床数…………… 450床（一般：442床、感染症：8床）

学会指定・各種認定一覧

（令和3年4月1日時点）

日本感染症学会認定研修施設	日本乳癌学会認定施設
日本環境感染症学会認定教育施設	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
日本緩和医療学会認定研修施設	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダーインプラント実施施設
日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設	日本肝臓学会認定施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設	日本認知症学会認定教育施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本循環器学会認定専門医研修施設
日本外科学会専門医制度修練施設	日本総合病院精神医学会認定一般病院連携精神医学専門医特定研修施設
日本消化器内視鏡学会指導施設	日本精神神経学会認定専門医制度研修施設
日本消化管学会胃腸科指導施設	日本口腔外科学会認定准研修施設
日本大腸肛門病学会認定施設	日本内分泌学会認定教育施設
日本消化器外科学会専門医修練施設	日本集中治療医学会認定専門医研修施設
日本食道学会食道外科専門医準認定施設	腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設	胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
日本整形外科学会認定施設	浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設	日本脈管学会認定研修指定施設
日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定教育施設	日本IVR学会認定専門医修練施設
日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設	日本リハビリテーション医学会認定研修施設
臨床栄養師研修受託施設	日本輸血・細胞治療学会認定臨床輸血看護師制度指定研修施設
日本病態栄養学会・日本栄養士会認定がん病態栄養専門管理栄養士研修実地修練施設	看護師特定行為研修指定研修機関
日本呼吸器学会認定施設	IMPELLA補助循環用ポンプカテーテル実施施設
日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設	日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度関連認定施設	日本小児外科学会認定施設
呼吸器外科学会専門医合同委員会認定関連施設	日本麻酔科学会認定病院
日本透析医学会認定施設	日本神経学会認定専門医准教育施設
日本腎臓学会認定教育施設	日本糖尿病学会認定教育施設
日本病理学会研修認定施設B	日本脳卒中学会認定研修教育施設
日本臨床細胞学会教育研修施設	日本血液学会認定専門研修認定施設
日本臨床細胞学会認定施設	日本内科学会認定教育病院
認定臨床微生物検査技師制度認定研修施設	非血縁者間骨髄採取認定施設
日本眼科学会専門医制度認定研修施設	非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科
日本産婦人科学会専門研修連携施設	日本小児外科学会認定専門医育成施設
日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設	日本耳鼻咽喉科学会専門研修連携施設
日本ベインクリニック学会指定研修施設	日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設
日本心臓血管麻酔専門医認定施設	日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設
日本医学放射線学会専門医総合修練機関	日本消化器病学会指導施設
日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診画像認定施設	日本救急医学会専門医指定施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設拠点教育施設	日本航空医療学会認定制度指定施設
3学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設	日本形成外科学会認定施設
日本小児循環器学会認定専門医修練施設	下肢静脈瘤に対する血管焼灼術の実施基準による実施施設
日本糖尿病学会連携教育施設（小児科）	椎間板酵素注入療法実施可能施設

特殊診療施設及び機能等

臨床研修指定病院 佐賀大学医学部関連教育病院 救命救急センター エイズ拠点病院 基幹災害拠点病院 緩和ケア病棟
臓器提供施設 開放型病院 地域医療支援病院 第一種感染症指定医療機関 第二種感染症指定医療機関
ISO15189認定取得病院 原子力災害拠点病院 地域周産期母子医療センター 地域がん診療連携拠点病院（高度型）
日本医療機能評価機構認定病院（3rdG Ver.2.0）DPC特定病院群 がんゲノム医療連携病院 アレルギー疾患医療地域協力病院
DMAT指定医療機関 外国人患者受入れ医療機関認証病院（JMIP） 卒後臨床研修評価機構（JCEP）

病院の特色

佐賀県医療センター好生館は、「もっとやさしく、もっと高度な医療へ」を掲げて、各診療科のほかに臓器別、疾患別にチームとして医療を行うセンター部門を設けて診療体制を充実させています。

救命救急センター

一人でも多くの命を救うために

1987年に佐賀県初の救命救急センターとして開設以来、一人でも多くの重症患者を受け入れるべく24時間365日対応しています。

救急外来(ER)には、救急患者の緊急度判定を行うトリアージナースを配置し、また重要な心疾患、脳卒中、外傷などの専門医も設備も充実させてチーム医療で迅速な対応ができる体制を整えています。

救命救急センターでは、walk-in 受診の救急外来を研修医および各科指導医が、救急車(ドクターヘリ)および各医療機関からの紹介患者さんを救急科医師(金・土・祝前日夜間は各科医師)が主に担当しています。さらに、脳卒中・循環器・外傷・小児周産期・集中治療グループ等とも十分連携し、迅速かつ高度な医療を提供しています。

当館救急外来は、佐賀県民の「急を救う(救急)」ことを使命とする部門であり、その中で、我々救急科は、重症化した佐賀県民の救急を担っている自負があります。今後も、救急医療(=医の原点である)という普遍性の継続と模索、その責務を全うすべく人員と体制を整えることが課題と思っています。



脳卒中センター

組織的な診療体制と個の融和

脳卒中という病気は名前からしてさも脳の病気のようにですが、実際には血管が詰まったり破れたりする病気で主体は血管病変です。血管は全身にありますから、脳の血管だけが特別に悪くてほかの血管は大丈夫、などということを期待してはいけません。また脳は脆弱な臓器で治療が遅れたら取り返しがつきません。脳卒中診療は全身への視点とスピード感が大事なのです。このため好生館脳卒中センターは脳神経外科、脳神経内科、そしてリハビリテーション科が共同で患者さんを中心にして支える組織的診療体制そのものです。その中でより高度な医療に挑戦し次世代を担っていく優れた医師を育て、組織に融合させながら生かしていきたいと考えています。佐賀県の脳卒中診療のレベルアップと地域住民の方の健康寿命を延ばしていくよう努力して参ります。



外傷センター

外傷後の後遺症の軽減を目指して

県内では連日数多くの交通事故や労災事故が発生しています。また、高齢者の転倒外傷も年々増加しております。これらの外傷は初期治療、初期判断を誤ると外傷が治癒したとしても後遺症が残存し満足な社会生活が送れなくなり、以前の日常生活を取り戻すことが困難となります。当センターではチーム医療で重篤な外傷に対しては最先端の治療を行い数多くの実績を上げています。また高齢者外傷に対しても可能な限り早期の治療を開始すべくホスピタリスト(病棟医)との協力のもとに最善の治療を行っています。



ハートセンター

患者さんの状態に最も適した治療を

ハートセンターでは、人工心肺を使用する心臓・大血管の外科手術から、より侵襲が少なく身体にやさしい血管内治療まで、患者さんの状態に最も適した治療を心臓血管外科と循環器内科が中心となり行っています。また救急科や集中治療部スタッフとの連携により迅速で質の高い治療が可能であり、血管造影装置を備えたハイブリッド手術室で高度な医療を提供しています。さらに心臓リハビリテーションの重要性も認識しており、早期から理学療法士の介入によるリハビリテーションを行い、患者さんの早期回復と社会生活への復帰を目指しています。



周産期母子センター

生まれてくる赤ちゃんのために

生まれてくる赤ちゃんに治療が必要と予測されれば、分娩前に産科に入院していただき(母体搬送)、より高度な分娩管理と出生直後からの新生児集中治療を24時間体制で行います。産科、小児科、小児外科の医師や看護師、栄養士のほかに麻酔科医やMEセンターの臨床工学技士などが協力し、高度で多岐にわたる医療を提供しています。また、佐賀県内唯一の独立した小児外科を有し多くの新生児外科症例の治療を行っています。多職種による周産期カンファランスで連携を強化し、新生児医療のさらなる充実、発展をめざしています。

当館は、佐賀県地域周産期母子医療センターに認定されており名実ともに佐賀県の周産期医療を担う中心的な施設になっています。



がんセンター

チーム医療によるがん診療の安全と質の向上を目指して

がんセンターは好生館のがん診療を横断的に統括する部門として活動しています。がんの予防、診断、登録から内科的・外科的な最先端治療、外来化学療法、放射線治療、緩和ケアに至るまでのトータルケアを、がんに係るすべての専門職によるチーム医療で集学的がん治療を実践しています。

また、当館は厚労省より「地域がん診療連携拠点病院(高度型)」に指定されており佐賀県の中核病院として地域のがん診療への支援、研修、人材育成や情報発信などに積極的に取り組んでいます。



ブレストセンター

乳房(ブレスト)のトータルケア

ブレストセンターは、乳がん診療に関わる乳腺専門医をはじめ、形成外科、放射線科、病理検査部、腫瘍内科、緩和ケア科、がん関連認定看護師等の各科の専門医療者が協力してチーム医療を展開し、より高度で最適な医療を提供します。

また、乳がん治療のほか、乳房再建、出産後の乳腺炎等の良性疾患、検診(2次精査)、認定看護師による手術・抗がん剤治療・副作用の不安や対策のご相談等、センターの役割は多岐にわたり、まさに「乳房(ブレスト)のトータルケア」を行っています。



乳腺内視鏡手術

リハビリテーションセンター

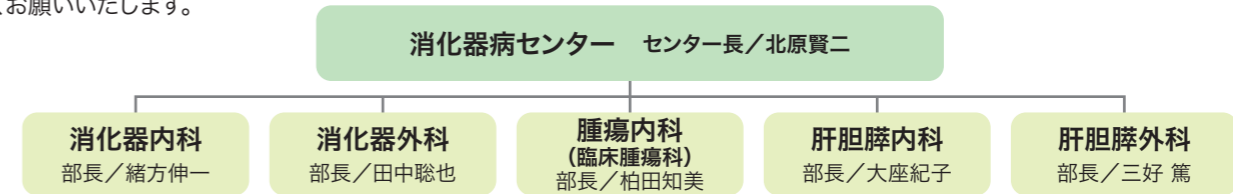
その人らしい生活を支えるために

脳血管、運動器・がん、呼吸・循環の3チームに分けた診療ユニット制を導入し、専門性を高め、安全で効果的な急性期リハビリテーションの提供をめざしています。また集中治療室(ICU)や病棟に専従の療法士を配置することにより、早期離床および早期の日常生活活動の自立に向けた支援を行っています。医師、看護師、MSW等との多職種カンファレンスを行ってチーム医療を推進し、また地域連携バスの運用を通して、リハビリテーションの地域連携にも力を入れています。患者さんがより良い状態でその人らしい生活を取り戻せるように貢献していきたいと考えています。



消化器病センター

2021年7月1日より消化器病センターを設立しました。所属する①消化器内科②消化器外科③腫瘍内科(臨床腫瘍科)④肝胆膵内科⑤肝胆膵外科は勿論のこと、7階西病棟・7階東病棟・外来および外来化学療法室・内視鏡室・手術部・放射線部などの消化器病診療に関係する全スタッフが、これまで以上に綿密に連携し、強固な連帯感を持って診療していただくことが最大の目的です。好生館の消化器病診療が益々発展し進化できるように及ばずながら調整役を果たす覚悟です。何卒よろしく願いいたします。



手術部

手術支援ロボットのダヴィンチを導入し、患者さんへの負担が少ないロボット支援内視鏡手術を開始しました。腹腔鏡手術と同じようにいくつかの小さな切開部を作り外科医の操作に従って内視鏡・メス・鉗子を動かして行う手術です。

また、外科的治療と血管造影やカテーテルを使った血管内治療が同時にできるハイブリッド手術室も稼働しており、関係する診療科の医師が協働して効率的で高度な治療を提供しています。

これからも、腹腔鏡や胸腔鏡手術など高度化し増加する手術に十分対応するために、医師、看護師、臨床工学技士などのスタッフが安全を第一にチーム医療を行っていきます。



ダヴィンチ



ハイブリッド手術室

集中治療室 (ICU)

当館ICUでは、集中治療医が他の業務との兼任ではなくICUで治療に専念できる体制となっています。専従医、看護師が中心となって人工呼吸管理、循環管理、急性血液浄化、ECMO、IABP、脳低温療法など幅広い領域で重症患者管理や運営を行い、さらに感染制御部による感染管理、口腔外科による口腔ケア。他にも臨床工学技士、専任の薬剤師、管理栄養士、理学療法士と連携し充実した診療を24時間体制で行っています。



集中治療室 (ICU)

脳卒中ケアユニット (SCU)

2019年5月に好生館脳卒中治療ケアユニットが6床で稼働を開始しました。看護師を3対1で配置し専属の理学療法士も配置することで発症から14日以内の急性期脳卒中患者さんに対して、緻密な観察をもとにした内科的治療とスムーズな早期リハビリテーションを行い、一日でも早い日常生活動作の獲得を目指しています。順調に実績を伸ばすことができている12月からは9床に増床して運営しています。当館は超急性期の治療施設としてすでに九州でも上位に位置づけられていますが、佐賀県で初めてこの脳卒中ケアユニットを得てさらに飛躍していきたいと考えています。



SCUスタッフ



看護部

専門職としての誇りと責任を持ち、
患者・家族一人ひとりを大切にした看護を実践します

看護部理念

好生館の基本理念である「病む人、家族、そして県民の心に添った最良の医療」の実現に向けて、看護部は人間性を尊重し心のこもった安全で安心のできる、質の高い看護を提供する役割を担っています。

看護部では「一人ひとりを大切に」を合言葉に、多職種と協働し入院中はもちろんのこと退院後の生活を見据えた看護を行い、地域の皆さまから信頼される看護部を目指します。



基本方針

- ① 高い倫理観に基づき、患者中心の信頼される看護を提供します
- ② 常に患者の安全・安楽・自立を考え、最新の治療と技術に基づいた看護を提供します
- ③ 好生館の役割を意識し、医療チームの一員として看護の専門性を発揮します
- ④ 臨床の現場は教育の場であることを認識し、自律した看護職を目指します
- ⑤ 組織の一員として、積極的に病院運営に参画します

〈看護の特徴〉

- ◆ 受持ち体制 (看護提供方式) …… 一人の看護師が一人の患者さんの入院から退院までの全期間を通して受け持ち、看護計画を立て実践いたします。患者さんの看護に責任をもつ看護体制です。
- ◆ 入退院支援体制 …… 入院から退院、退院後の生活まで一貫した支援を多職種と協働して行います。入退院支援センターもリニューアルされ、役割の拡大に伴い看護師を9名配置しています。
- ◆ 専門・認定看護師の活動 …… 院内には特定分野において熟練した技術と知識を有する専門看護師が1名、認定看護師が20名、認定看護管理者が2名在籍しています。多職種による横断的チームの一員として活動しています。
- ◆ 看護専門外来 …… 認定看護師による「ストーマ・創傷ケア外来」「がん看護外来」を毎日行っています。がん看護外来では、4分野(緩和ケア・乳がん看護・がん放射線療法看護・がん化学療法看護)の認定看護師が、がんに関するあらゆる相談に対応します。
- ◆ 教育体制の充実 …… 時代の変化に対応し、専門職として自立した看護師の育成を目指し、教育専従看護師長・副看護師長を配置しました。また、看護部では、最新の知識と技術に基づき最良の看護が提供できる看護職員育成のため、キャリアラダーを導入しラダーレベルに応じた教育を行っています。また、自己学習ができるようにe-Learning等の教材を豊富に準備しています。



患者・家族総合支援部

地域の拠点病院として患者とその家族に
安全で良質な医療を提供します

2004年に「地域医療連携病院」として認定を受けてから、地域完結型医療の実現のために「医療連携」「救急体制」「研修体制」の強化に努めてきました。さらに2019年にはがん診療への取り組みが評価され「地域がん診療連携拠点病院(高度型)」の指定を受けました。今後も当館の診療の3本柱である「救急医療・がん診療・循環器医療」に関して、より一層充実した診療体制および地域との連携体制を整えるべく、患者・家族総合支援部は活動していきます。

- 地域医療連携センター TEL. 0952-28-1495 FAX.0952-28-1269
- がん相談支援センター TEL. 0952-28-1210 FAX.0952-28-1250
- 一般相談支援センター TEL. 0952-28-1158 FAX.0952-28-1109
- 入退院支援センター TEL. 0952-28-1010

入退院支援センター

入退院支援センターでは、入院決定時から早期に患者さんと関わり、退院後まで安心して生活が送れるように、主治医と密に連携をとり、看護師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、医療秘書が多職種で支援します。現在、全ての予定入院患者さんに対応出来るよう診療科を拡大しています。



入退院支援センター

地域医療連携センター

地域の医療機関との連携業務として、予約業務を始め、病院訪問、在宅支援、院内外への情報の収集・提供・発信を行っています。また医療従事者向けの研修会も定期的開催しています。地域の医療機関の皆様と連携・協力しながら安全で良質な医療の提供を目指していきます。ご意見・ご相談がございましたら気軽にご連絡ください。



地域医療連携センター

がん相談支援センター・一般相談支援センター

社会福祉士が患者さんやそのご家族から相談を受け、困ったことの解決のお手伝いをしています。生活の支援、医療費の相談、介護保険の相談、がんの治療と就労の両立に関する相談、在宅療養、医療機関や治療の方法等、今、何が必要なのか、情報提供や地域の事業所との調整、ご家族も大きな不安、それを一つずつ伺いながら、その解決のお手伝いをします。



一般相談支援センター



がん相談支援センター

病院の特徴

■ 各科が取り組む診療・治療

- 1 救急科**
診療科枠に限定しない横断的医療
病院前医療(ドクターヘリ)
救急初期診療(内因・外因問わない)
重症者集中治療(救命救急センター)
- 2 血液内科**
血液がん(悪性リンパ腫、白血病、多発性骨髄腫)の化学療法
血縁およびバンク(骨髄、臍帯血)からの造血幹細胞移植
血液病の診断、治療、相談の窓口
- 3 小児科**
感染症を中心とする急性期疾患全般の治療
循環器・神経・内分泌・アレルギー・腎臓など充実した専門外来
内分泌・食物アレルギーなど負荷試験に基づいた診断・治療
- 4 呼吸器外科**
肺癌に対する胸腔鏡またはロボットを用いた低侵襲手術
ハイブリッド手術室で施行する診断困難な肺小病変に対する手術
中枢気道狭窄に対するステント治療
- 5 消化器外科**
胃癌、大腸癌、食道癌に対する外科手術(腹腔鏡下手術、ロボット手術を含む)
良性疾患手術、緊急手術(腹腔鏡下手術を含む)
- 6 肝臓・胆のう・膵臓外科**
肝癌、膵癌、胆道癌、十二指腸乳頭部癌に対する外科手術(腹腔鏡下手術を含む)
低悪性肝胆膵腫瘍、胆石症、胆嚢ポリープ、膵腫などの良性疾患手術(腹腔鏡下手術を含む)
- 7 乳腺外科**
乳腺鏡視下手術
dose-dense化学療法
- 8 小児外科**
県内唯一の小児外科診療科
小児腹腔鏡手術を推進
小児の栄養管理のエキスパート
- 9 心臓血管外科**
小開胸弁膜症手術
下肢静脈瘤血管内焼灼・塞栓
透析困難例におけるシャント手術
- 10 脳神経外科**
神経モニタリングを駆使した安全な手術
脳動脈瘤治療(クリッピング/コイル塞栓術)
頸動脈内膜剥離術/脳血管バイパス術
脳動脈静脈奇形・硬膜動脈静脈瘻の治療
脳血栓回収術/頸動脈ステント留置術/頭蓋内ステント留置術
- 11 整形外科**
前外側アプローチによる脱臼しない人工股関節置換術
外傷センターと連携した多発外傷、骨盤骨折、開放骨折治療
低侵襲人工膝関節部分置換術
側弯症などの難易度の高い脊椎手術
- 12 消化器内科**
内視鏡的粘膜下層剥離術:ESD(食道、胃、十二指腸、大腸)
内視鏡的止血術(高周波ソフト凝固、クリップ縫縮、エタノール局注など)
内視鏡的筋層切開術(食道アカラシアに対するPOEM)
内視鏡的ステント留置術(十二指腸、大腸)
- 13 肝臓・胆のう・膵臓内科**
胆膵領域精査加療(ERCP、EUS-FNA、EUS-CD)
肝癌治療(RFA、TACE、分子標的治療薬、HAIC、PEIT、免疫チェックポイント阻害薬)
経皮経肝胆道ドレーナージ(PTGBD、PTBD、PTGBA)
膵癌・胆道癌化学療法
- 14 形成外科**
先天異常(副耳、耳瘻孔、多指症)に対しての形成術
乳房再建術
ALEX レーザー(扁平疣斑、外傷性刺青)
- 15 腫瘍内科(臨床腫瘍科)**
がんゲノムプロファイリング検査
腹水濾過濃縮再静注療法併用化学療法
- 16 腎臓内科**
透析療法(血液透析、腹膜透析)の導入、維持、合併症治療
各種血液浄化療法(血漿交換、LDL吸着、白血球除去や顆粒球除去等の特殊血液浄化等)
難治性腹水に対する腹水濃縮療法
- 17 呼吸器内科**
クライオ・ブロープを用いた経気管支鏡生検法と気管支鏡インターベンション
- 18 眼科**
小切開硝子体手術
低侵襲緑内障手術
- 19 耳鼻いんこう科**
内視鏡下鼻・副鼻腔手術
鼓膜形成術、鼓膜穿孔閉鎖術
- 20 麻酔科**
緊急および麻酔困難者に対する麻酔管理
超音波ガイド下末梢神経ブロックを用いた麻酔管理
- 21 病理部/病理診断科**
迅速で正確な病理診断
遺伝子検査
臨床科とのカンファレンス
- 22 精神科**
不眠、せん妄の予防と治療
飲酒量を減らすための相談と治療
- 23 集中治療室**
V-A ECMO
V-V ECMO
急性血液浄化
敗血症治療
- 24 緩和ケア科**
鎮痛薬だけでなく、各種神経ブロックを併用して質の高い痛み治療
難治性がん性疼痛に対するくも膜下鎮痛法
膵癌や胃癌などの難治性疼痛に対して早期から腹腔神経叢ブロック(内臓神経ブロック)を施行
- 25 産婦人科**
低侵襲治療(腹腔鏡下手術、子宮鏡か手術など)
子宮体癌の腹腔鏡下手術
婦人科救急
- 26 泌尿器科**
前立腺癌、腎癌に対するダヴィンチ手術
泌尿器癌に対する腹腔鏡手術/内視鏡手術
尿路結石に対する内視鏡下レーザー手術
PSA高値に対する前立腺針生検
- 27 皮膚科**
薬剤性皮膚障害の治療
他院皮膚科との連携
- 28 リハビリテーション科**
ボツリヌス毒素療法(上肢・下肢痙縮)
嚥下造影検査(VF)
嚥下内視鏡検査(VE)
- 29 総合内科**
紹介診療科を選択することが困難な症状をもつ患者さんの診断の確定
多彩な背景を持つ患者さん一人一人にあった治療の提案
- 30 糖尿病代謝内科**
持続グルコースモニタリング(CGM)
持続皮下インスリン注入療法(CSII)
- 31 歯科口腔外科**
より安全な智歯抜歯
1泊入院全身麻酔下の抜歯
周術期等口腔機能管理
顕微鏡下歯根端切除術
- 32 脊椎外科**
経皮的システムを用いた低侵襲脊椎固定手術(PPSやBKP)
成人脊柱変形に対する前方後方固定術(OLIF併用)
脊柱側弯症に対する後方矯正固定術
腰椎疾患に対する低侵襲脊椎手術
椎間板ヘルニアに対する内視鏡手術
- 33 放射線科**
子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術(UAE)
下肢閉塞性動脈硬化症に対する血管内治療(EVT)
術後リンパ腫に対するリンパ管造影
- 34 脳神経内科**
脳卒中診療:rt-PA治療、SCUでチーム医療
神経難病の診断・治療
もの忘れ外来
- 35 膠原病・リウマチ内科**
関節リウマチの治療
- 36 循環器内科**
造影剤を用いない腎血管治療
ハートケアプログラム
脊髄刺激療法

クオリティマネジメントセンター(QMセンター)

医療安全管理と感染制御は病院が安心・安全な医療を提供するにあたって最も優先すべき重要な活動です。また組織横断的に医療の質向上に取り組んでいくには、企画経営課が担当している病院指標(QI)やベンチマーク調査などのデータ管理も必要です。令和2年4月より、これらをクオリティマネジメントセンター(QMセンター)としてグループ化して館長直轄の組織としました。今後は館長のもと、組織横断的な医療および経営の質改善活動を促進し現場の職員へ周知していくことが可能となります。

医療安全管理部

医療の安全確保と質改善活動は、病院が医療を提供するにあたって最も重要なテーマです。また多職種が働いている病院では、コミュニケーションエラーが医療事故の発生に繋がります。患者さんと家族が安心して好生館で治療を受けられるように、全職員が医療の安全と質改善に高い認識を持ち、チームとして医療を提供できるように取り組んでいます。



感染制御部

感染制御部は、病院全体の感染症診療と感染対策を一元的に担う専門の部署として設置されています。診療科にかかわらず全ての患者さんが適切な感染症診療を受けることができるよう、診断と治療のサポートを行っています。また全ての患者さんを院内感染から守り、安心して医療を受けていただくことができるよう、院内感染対策の推進に務めています。感染制御部の元に、抗菌薬の適正使用を支援する「抗菌薬適正使用支援チーム」と、感染対策を実践する「感染制御チーム」を置き、多職種が連携し組織横断的な活動を行っています。



医療支援部門

チーム医療を円滑に推進するために、診療に関する業務の組織的な支援を行います。信頼性の高い医療を提供するにはさまざまな専門職種の医療技術者が連携、協働することで、安全、安心な医療の実現が可能となります。

＜医療支援部門＞

- 薬剤師
- 臨床検査技師
- 診療放射線技師
- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士
- 管理栄養士
- 臨床工学技士
- 臨床心理士
- 視能訓練士
- 歯科衛生士
- 医療ソーシャルワーカー

教育センター

良質・安全で高度な医療を提供するために、医師、看護師、医療支援部スタッフの部門に専任の教育担当を配置し、教育・研修を充実強化し人材育成を推進します。また、指導者の教育力を向上させ全職種の教育およびキャリア開発を進めると共に職種間教育を展開し職種連携を透明化して開かれたチーム医療を行います。さらに地域の医療人を育成するために各種講演会や研究会の開催、シミュレーションセンター、研修制度を活用し地域社会への貢献に取り組めます。



ライフサイエンス研究所

ライフサイエンス研究所は、大学や企業と連携し、病院と共に臨床に直結した医学研究の実施体制を充実させることで、地域に還元できる成果を得ることを目指しています。また近年は、臨床研究や治験の支援体制を整え、信頼できる医療技術の向上、安心・安全な医薬品・医療機器の開発に貢献しています。

- 臨床試験推進部
- 疾患ゲノムセンター
- 疾患疫学研究部
- 疾患遺伝子研究部



好生館に備わる各種医療施設・設備



ハイブリッド手術室

高性能の固定型X線血管造影装置と手術用寝台を組み合わせた手術室で、血管内治療から外科的手術へと迅速に移行でき柔軟な対応ができます。



320列CT

従来のCTよりも1回転の撮影範囲が広く撮影時間も短く高画質のスキャンが可能で、緊急性の高い心臓、脳疾患に対し迅速かつ高精度の対応ができます。



放射線治療装置(リニアック)

がんなどの患部に向けて放射線を照射し、それを破壊したり進行を抑えたりします。体にメスを入れることなく治療でき、痛みとダメージが少なく体への負担が最小限です。



人工透析室

透析治療とは、悪くなった腎臓を治療するのではなく、悪くなった腎臓に代わって老廃物や水分などを除去する治療です。当人工透析室では、主として各種血液浄化療法を行っています。



外来化学療法室

ベッド11床、個室2室、テレビモニター付リクライニングチェア14台の設備で、専任の医師、看護師、薬剤師が、がん薬物療法を行っています。



緩和ケア病棟

がんなどの病気の痛みや様々な不快な症状を和らげ、いろいろな悩みに対しても支援を行うところです。



迅速微生物同定検査装置

最新の機器を使用し、迅速かつ正確に検査を行い、感染症診療に貢献しています。



ロボットスーツHAL®

リハビリテーションセンターでは医療用下肢タイプを用い、保険適用となる神経・筋難病疾患に対して、歩行機能改善を目指した訓練を行っています。

院内セキュリティの強化について



病棟入口



好生館では、これまで夜間でも出入りが自由であった病棟入口に2020年12月1日からセキュリティシステムを設置しました。このシステムは24時間稼働し、入院患者さんの療養生活における保安管理や安静確保のために役立っています。また、来館者トリアージや面会受付対応と併せて行う事で、コロナ禍の感染拡大防止に繋がります。なお、入院患者さんの出入りについてはスタッフにお声かけして頂ければ対応することができます。

院内感染防止に取り組んでいます



陰圧管理



陰圧室

病院は様々な病原体に感染した患者さんや、様々な治療で免疫状態が低下した患者さんなどが集まる場所であり、感染症が発生しやすい環境です。私達は患者さん、ご家族、来訪者、職員等、病院に関わるすべての人々を感染から守るために、全職員で感染防止対策に取り組んでいます。なかでも「手指衛生」は最も重要かつ効果的な方法の一つです。各病室の入口に手指消毒薬を設置し、患者さんやご家族の方にもご協力をお願いしています。

また当館は佐賀県唯一の第一種感染症指定医療機関であり、感染症法で定められた1類感染症、2類感染症、新型インフルエンザ等感染症患者が県内で発生した際に入院医療を担当します。2020年1月に日本で初めて確認され、その後現在も感染拡大が続いている新型コロナウイルス感染症は感染症法における指定感染症(2類感染症相当)に定められており、当館は県内の他の4つの第二種感染症指定医療機関や入院協力医療機関と共に、多数の感染患者さんを受け入れています。

外来には感染症患者さん専用の診察室があり、入院の際は専用の出入口を用い、専用のエレベーターで感染症病棟に移動します。病室はすべて個室で室内にトイレ・シャワーが設置されており、外来・入院ともに一般の患者さんと接触することはありません。病室は室内の空気が外に漏れ出ないように陰圧空調に管理され、排水も独立して処理されます。対応する医療従事者は個人防護具を着用し、厳重な感染対策を実施しています。患者さんや職員を感染から守り安全な医療が提供できるよう、万全の体制を整えています。

緊急時の迅速な医療対応を心がけています



ドクターヘリ

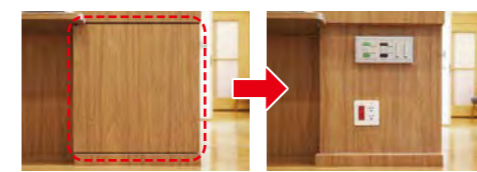


ドクターカー

救命救急医療のために、屋上ヘリポートから離着陸するドクターヘリの運航をしています。ドクターヘリとは、救急専用の医療機器を装備し、救急医療の専門医師と看護師が搭乗した専門ヘリコプターのごとく、これにより迅速に救急現場に出勤し、患者さんに救命措置を施すとともに最適な医療機関へ搬送することができます。

ドクターカーは専任のスタッフとして救急救命士を配置し、佐賀広域消防局と連携して重症者の病院間搬送を行っています。

災害時の拠点となる医療体制を整えています



医療ガス・非常電源写真



免震アイソレーター

大きな災害発生時には病院機能をすぐに回復し、多くの患者さんを受け入れることができるよう対策をしています。

- エントランスホール
- 1階外来前の廊下や多目的ホールに医療ガスと非常電源を設置
- 床暖房を整備し、ベッドになる待合椅子を設置
- ライフライン等の確保
- 2系統受電、自家発電装置、地下水の活用、医薬品等の備蓄倉庫の完備
- 免震構造
- 建物そのものの特徴として免震構造を採用し震度6強～7程度の極めて稀に発生する地震にも耐えうる建物になっています。

県民公開講座



好生館では、県民の皆さまの健康維持・増進に役立てるため、県民公開講座を開催しています。

- 2021. 6. **がん県民公開講座「超(腸)やさしい大腸がんの話～これだけは知って腸だい!～」**
新型コロナウイルス感染症対策のため、ぶんぶんテレビで放送
- 2020.12. **がん県民公開講座「肝臓がん～これだけは知って肝ば!～」**
新型コロナウイルス感染症対策のため、ぶんぶんテレビで放送
- 2020.10. **「知りたい!感染症～予防が大事?治療が大事?知識が大事?～」**
新型コロナウイルス感染症対策のため、ぶんぶんテレビで放送
- 2019.12. 7 **がん県民公開講座「がん治療と意思決定」**
- 2019.10.19 **「知りたい!脳卒中～寝たきりにならないためにできること～」**
- 2019. 2. 2 **がん県民公開講座「男性のがん・女性のがん」**
- 2018.11.17 **「教えて!骨粗鬆症～寝たきりにならないためにできること～」**
- 2017.12. 9 **がん県民公開講座「がんと共に生きる」**
- 2017.10.28 **「心臓病から命を守る」**

患者の皆様が快適に過ごせるように



スタンドグラス



サテライトキッチン

1階のエントランスホールに光庭を配置し、その周囲には四季をイメージしたスタンドグラスを設置しています。3階には季節感や自然を感じていただける屋上庭園があります。

入院棟各階には、温かくおいしい食事を提供できるよう、サテライトキッチンを完備しています。また、おいしく楽しく喜んで食べていただけるように、地産地消メニュー「さがランチ」を定期的に提供しています。レストラン、コンビニ、自動販売機、コインランドリー、ATM、無料Wi-Fiサービスなども利用できます。

ボランティアの方々のお手伝いをいただいています



多数のボランティアの方々登録されさまざまな活動をされています。総合外来での受診手続きのお手伝いや車いすでの搬送、病棟巡回図書サービスなどです。また、緩和ケア病棟では花の管理や陶芸教室のお手伝い、毎週金曜日の「ひまわり喫茶」でのティーサービスやコンサート等の催しの企画・お手伝いなどをしていただいています。

佐賀県立図書館の分室を設置しています



県立図書館分室

図書・情報コーナーとして県立図書館の分室を設けています。患者さんや付添の方をはじめ、県内外の方どなたでもご利用いただけます。蔵書約2,800冊を有し(県立図書館本館からも取り寄せ可能)、当館元顧問の故日野原重明先生(聖路加国際病院名誉理事長)の著作を集めた日野原文庫コーナーも設置しています。貸出冊数は15冊まで、貸出期間は2週間です。患者さんへの予約図書の病室お届けサービスも行っています。

好生館のあゆみ

1834年(天保5年)第10代佐賀藩主鍋島直正公により佐賀市八幡小路に医学館・医学寮が創設されました。その医学寮に直正公直筆の「好生館」という扁額が下し置かれここから好生館の歴史が始まりました。

好生館という名称は、中国の書経の一節「好生の徳は民心にあまねし(人の生命を大切にす徳を万人にゆきわたらせる)から来たものです。

佐賀藩校弘道館の教授であった古賀穀堂が1806年(文化3年)「学政管見」の中で医学教育の必要性を訴え、また「学問ナクシテ名医ニナルハ覚束ナキ儀ナリ」と医療者の心得を説きました。この言葉が医療者の向上心と育成のための教育の重要性を著しているものとして好生館の設立の理念となっています。当時の好生館は、日本で初めての種痘(牛痘)の施行や医業免札制度を導入し医術開業免状(医師免状)の発行など、日本の医学の先駆的な役割を果たしました。日本赤十字社を創設した佐野常民も1851年(嘉永4年)医業免札を受け正式に医者になっています。

1858年(安政5年)佐賀市水ヶ江に移転し正式に好生館という名称に統一され、1896年(明治29年)佐賀県立病院好生館となり長年にわたり地域医療の基幹病院として高度・特殊医療、医療教育を担ってきました。

2010年(平成22年)地方独立行政法人に移行、2013年(平成25年)佐賀市嘉瀬町に新築移転し名称も佐賀県医療センター好生館と改め、各種医療機能を充実させ先進的で高度な医療を提供しています。



扁額



鍋島直正公

公益財団法人鍋島報効会所蔵



学政管見

公益財団法人鍋島報効会所蔵 / 佐賀県立図書館 寄託

好生館の歴史

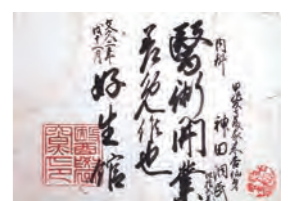
- | | | |
|-------|-------|-----------------------------------|
| 1806年 | 文化3年 | 古賀穀堂「学政管見」を第9代佐賀藩主鍋島齊直に建白 |
| 1830年 | 天保元年 | 鍋島直正 第10代佐賀藩主となり藩政改革着手 |
| 1834年 | 天保5年 | 医学館・医学寮創設 扁額「好生館」置かれ好生館が始まる |
| 1849年 | 嘉永2年 | 大石良英、直正公嗣子淳一郎君に種痘 |
| 1851年 | 嘉永4年 | 佐賀藩医業免札制度発足
医業免札姓名簿発行、医術開業免状交付 |
| 1858年 | 安政5年 | 佐賀市片田江(現在の水ヶ江)に移転 |
| 1860年 | 万延元年 | 伊東玄朴「お玉が池種痘所」幕府西洋医学所となる |
| 1872年 | 明治5年 | 県立好生館病院となる |
| 1877年 | 明治10年 | 佐野常民「博愛社」(日本赤十字前身)を開設 |
| 1879年 | 明治12年 | 外国人医師デーニッツ(独)着任 ドイツ医学を教える |
| 1883年 | 明治16年 | 甲種医学学校となる |
| 1888年 | 明治21年 | 公立佐賀病院となる |
| 1896年 | 明治29年 | 佐賀県立病院好生館となる |
| 1899年 | 明治32年 | 県立病院好生館附属看護養成所設置 |
| 1968年 | 昭和43年 | 臨床研修病院指定 |
| 1998年 | 平成10年 | 緩和ケア病棟(15床)設置 |
| 2010年 | 平成22年 | 地方独立行政法人移行 |
| 2013年 | 平成25年 | 佐賀市嘉瀬町に移転 佐賀県医療センター好生館となる |
| 2014年 | 平成26年 | 創始180年を迎える
好生館ライフサイエンス研究所設立 |
| 2020年 | 令和2年 | 看護学院附属化 |



種痘之図



医業免札姓名簿原簿



医術開業免状